

第1回 「玉来ダム検証における検討の場」会議 議事要旨

【開催日時】 平成22年12月1日(水) 13:30～15:50

【開催場所】 竹田総合庁舎 3階大会議室

【出席者】

小松座長、諫本委員、佐藤委員、島岡委員、中野委員、三宅委員、足立委員、菅委員、後藤(泰)委員、丹委員、早川委員、渡邊委員、後藤(万)委員、工藤委員(代理出席:大塚)、吉田委員、恵藤委員、児玉(修)委員、畑元委員、阿南委員、児玉(龍)委員、進委員、山本委員

【会議規約・公開規定・傍聴規定】

事務局より、会議規約、各規定の説明を行い、字句訂正の後、承認された。

【座長選出】

事務局提案により、小松九州大学教授が座長に選出された。

【議事要旨】

1)玉来ダムの検証の進め方について

事務局より、「ダム検証に係る経過」、「玉来ダムの経過」と「検証」の流れについて、説明を行った。

2)玉来ダム検証について

流域及び河川の概要

玉来ダム事業の概要

玉来川流域における治水対策案の選定(案)

3)玉来川流域の治水対策についての討議の場

、 について、事務局よりパワーポイントを用いて説明した。

、 については、修正・追加意見等は、特になし。

治水対策案について、各委員から以下の意見・質問があった。

< 治水対策案について >

- ・ 地域関係者 3 名から自己体験を述べた上で、地元ではダムを早く造ることで一致している。
- ・ 学識経験者から森林の保全が不採用とされたことについて、上流域の森林の保全状況等はどうであるのか。森林の保全は総合的観点から考えるべきである。
- ・ 地域関係者から魚道の計画について、どうなるのか。
- ・ 学識経験者から 26 案の個別検討ではなく、組合せ検討を考えてはどうか。
- ・ 学識経験者から 7 つの評価軸の中に完成期間での評価があるのか。長時間かかるのでは意味がないのではないか。
- ・ 地域関係者からダムやそれ以外の案について、何年で安全確保できるのかを示すこと。

< 事務局の回答 >

- ・ 森林保全については、事務局提案にプラスして、組合せも含め次回までに検討案を示す。
- ・ 魚道については、詳細設計後に関係者と協議する。
- ・ 次回までに組合せも含めた案を示すとともに、7 つの評価軸の内容として、事業期間等のデータを用いた評価検討案を提案する。

【その他】

第 2 回会議を平成 22 年 12 月 22 日（水）と決定した。